



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 S P K株式会社

コード番号 7466 URL <https://www.spk.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 沖 恭一郎

問合せ先責任者 （役職名） 取締役コーポレート統括本部長 （氏名） 小河 昌史 TEL 06-6454-2578

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	56,085	10.7	2,816	18.3	3,034	18.9	2,051	18.1
2025年3月期第3四半期	50,670	6.1	2,379	△10.8	2,551	△10.8	1,736	△11.8

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,937百万円（7.2％） 2025年3月期第3四半期 1,808百万円（△24.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	203.20	—
2025年3月期第3四半期	172.48	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	46,285	28,358	61.0
2025年3月期	44,172	27,062	61.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 28,217百万円 2025年3月期 26,930百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	28.00	—	32.00	60.00
2026年3月期	—	33.00	—		
2026年3月期（予想）				40.00	73.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年2月9日）公表いたしました「2026年3月期の期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	74,000	7.7	3,400	2.7	3,600	0.9	2,520	0.9	250.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	10,453,800株	2025年3月期	10,453,800株
2026年3月期3Q	357,140株	2025年3月期	363,695株
2026年3月期3Q	10,094,038株	2025年3月期3Q	10,066,724株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻く経済環境は、主要国における金融政策・通商政策の動向に加え、地政学的リスクの継続などを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは2030年までにモビリティビジネスのグローバル商社を目指す「VISION2030」の2nd Cycle（2024年～2026年）3か年中期経営計画の2年目に取り組んでおります。北米及び欧州市場での需要調整の影響を受けている工機事業は引き続き厳しい状況となりましたが、市場保有車両台数に支えられ安定した需要が見込める主力の自動車アフターマーケット補修部品関連は、国内・海外ともに堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。また、前連結会計年度に実施した大型買収案件が寄与したC U S P A事業も同様に大幅な増収となりました。

一方で、人的資本への投資拡充や物流費など各種コストの高止まりにより、販売費及び一般管理費は前年同期比14.5%増加しました。

その結果、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高560億85百万円（前年同期比10.7%増加）、営業利益28億16百万円（同18.3%増加）、経常利益30億34百万円（同18.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億51百万円（同18.1%増加）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「国内営業本部」に含まれていた「㈱デルオート」について、事業環境の変化に伴い管掌部門を移管したことにより「工機営業本部」に変更しております。

セグメントの前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### （国内営業本部）

国内営業本部は、自動車保有台数の増加と車齢の長期化による安定した補修部品の需要があり、主要顧客への販売が堅調に推移しました。商品別ではPB商品、バッテリー、足回り商品、ワイパー、エアコンフィルターなどの主力商品の販売が堅調を維持し前年を上回る業績となりました。

国内連結グループ会社の業績は、一部顧客において苦戦があり減少しましたが、新たな商材や販売先の開拓を継続して進め対応してまいります。

その結果、売上高は238億10百万円となり、前年同期比で4.4%の増収となりました。

依然様々なコスト増が続いている状況ですが、エリア再編や物流改革、システム改修による業務効率化を進め、また取引先や他本部、グループ会社との連携を強化し、環境の変化に対応できるようバリューチェーンの最適化構築に取り組んでまいります。

#### （海外営業本部）

海外営業本部では、第3四半期は全地域で順調に売上が伸長しました。特にアジア地域では新規商材の取引開始が寄与し、北米・中南米地域では既存仕入先との関係強化や各種施策の展開により、堅調に売上を拡大することができました。

一方、海外連結グループ会社においては、米国の関税政策に伴う不透明感から整備需要が低迷しており、川下に位置する同国子会社ではその影響が顕著に表れています。

その結果、売上高は210億32百万円となり、前年同期比で12.3%の増収となりました。

年始早々、中南米地域ではベネズエラにおける急激な情勢変化のニュースが入ってきております。目まぐるしく変化する世界環境ではありますが、引き続きお客様との緊密なコミュニケーションを取りながらアジャイルに対応して参ります。

#### （工機営業本部）

工機営業本部は建機・農機・産業車両メーカー向け組付部品販売を展開しております。第3四半期は、北米における関税影響や景気先行き不透明感を背景に、市場での買い控えやリース車両入替えの様子見が続く主要顧客での減産傾向が継続しました。一方、欧州およびオセアニア市場では需要回復の兆しが見られ、一部の顧客で増産が期待されるなど地域によって明暗が分かれる状況となりました。

その結果、売上高は58億73百万円となり、前年同期比で5.1%の減収となりました。

不透明な経済環境が続く中、当社は既存事業の維持・拡大に加え、新たな事業領域の開拓を加速し、顧客の課題解決に資する提案型営業を強化して参ります。また、組織力・業務プロセスの高度化を通じ効率性と競争力を一層高め「働く乗り物」社会への貢献を果たすことで持続的な成長を目指します。

## (CUSPA営業本部)

CUSPA営業本部は引き続き原材料費の高騰や円安による輸入価格の上昇など、厳しい外的要因の影響を受けておりますが、継続して自社ブランド商材の価格改定や送料の見直しを行うことに加え、新たにグループ化した株式会社ブリッツとの連携強化に取り組みました。また開発費・広告宣伝費等の投資についても選択と集中を図り、カーメーカーとの協業やシミュレーター関連ビジネスを強化しました。

その結果、売上高は53億68百万円となり、前年同期比で82.4%の増収となりました。

今後も原材料価格や為替変動含む市況変化を注視しながら営業活動を継続するとともに、積極的な商品開発や取引先拡大に向けてチャレンジを続けてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は462億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億12百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産が365億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億33百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の3億12百万円の増加、電子記録債権の7億98百万円の増加、及び棚卸資産の10億17百万円の増加によるものです。

固定資産は97億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債が138億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億30百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の22億64百万円の増加によるものです。

固定負債は41億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億14百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の16億74百万円の減少によるものです。

純資産合計は283億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億95百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は61.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日発表時のものからの修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,872	8,184
受取手形及び売掛金	11,656	11,583
電子記録債権	2,173	2,972
棚卸資産	11,114	12,132
未収入金	531	565
その他	991	1,132
貸倒引当金	△43	△40
流動資産合計	34,296	36,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,325	2,254
機械装置及び運搬具（純額）	360	338
土地	2,990	2,990
リース資産（純額）	242	474
建設仮勘定	98	53
その他（純額）	185	201
有形固定資産合計	6,203	6,313
無形固定資産		
のれん	917	721
顧客関連資産	687	621
借地権	19	19
ソフトウェア	489	557
リース資産	9	3
その他	16	16
無形固定資産合計	2,140	1,939
投資その他の資産		
投資有価証券	430	453
繰延税金資産	370	323
退職給付に係る資産	2	0
その他	736	731
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,533	1,502
固定資産合計	9,876	9,755
資産合計	44,172	46,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,380	5,385
電子記録債務	491	586
短期借入金	555	2,819
1年内償還予定の社債	120	110
1年内返済予定の長期借入金	2,342	2,233
未払法人税等	712	405
賞与引当金	438	258
その他	1,436	2,007
流動負債合計	11,476	13,807
固定負債		
長期借入金	4,571	2,896
退職給付に係る負債	501	510
長期預り保証金	148	147
長期未払金	26	23
その他	386	541
固定負債合計	5,633	4,119
負債合計	17,110	17,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	898	898
資本剰余金	1,018	1,025
利益剰余金	24,162	25,557
自己株式	△384	△377
株主資本合計	25,695	27,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	125
繰延ヘッジ損益	5	△5
為替換算調整勘定	1,126	993
その他の包括利益累計額合計	1,235	1,113
非支配株主持分	131	140
純資産合計	27,062	28,358
負債純資産合計	44,172	46,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	50,670	56,085
売上原価	41,363	45,338
売上総利益	9,307	10,747
販売費及び一般管理費	6,927	7,931
営業利益	2,379	2,816
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	14	136
仕入割引	91	64
不動産賃貸料	36	28
為替差益	15	3
その他	58	53
営業外収益合計	225	294
営業外費用		
支払利息	28	44
不動産賃貸費用	21	14
その他	4	17
営業外費用合計	53	76
経常利益	2,551	3,034
特別利益		
固定資産売却益	3	11
投資有価証券売却益	87	—
特別利益合計	90	11
特別損失		
固定資産除売却損	6	0
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益	2,632	3,044
法人税、住民税及び事業税	782	968
法人税等調整額	112	16
法人税等合計	895	984
四半期純利益	1,737	2,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,736	2,051



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,737	2,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	22
繰延ヘッジ損益	△8	△10
為替換算調整勘定	98	△133
その他の包括利益合計	71	△122
四半期包括利益	1,808	1,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,799	1,929
非支配株主に係る四半期包括利益	8	8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	国内営業本部	海外営業本部	工機営業本部	CUSPA営業本部	
売上高					
日本	22,808	5	4,923	2,943	30,680
アジア・オセアニア	—	7,842	330	—	8,172
中南米	—	4,135	0	—	4,135
北米	—	2,373	883	—	3,257
中東・アフリカ	—	3,327	0	—	3,328
ヨーロッパ	—	1,044	52	—	1,096
顧客との契約から生じる収益	22,808	18,728	6,190	2,943	50,670
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	22,808	18,728	6,190	2,943	50,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	473	13	148	7	642
計	23,281	18,742	6,339	2,950	51,313
セグメント利益	1,060	774	489	6	2,331

	調整額	四半期連結財務諸表計上額
売上高		
日本	—	30,680
アジア・オセアニア	—	8,172
中南米	—	4,135
北米	—	3,257
中東・アフリカ	—	3,328
ヨーロッパ	—	1,096
顧客との契約から生じる収益	—	50,670
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	—	50,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	△642	—
計	△642	50,670
セグメント利益	220	2,551

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額220百万円の内訳は、報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益46百万円、各営業本部が負担する一般管理費の配賦差異46百万円及び営業外費用の配賦差異127百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	国内営業本部	海外営業本部	工機営業本部	CUSPA営業本部	
売上高					
日本	23,810	68	4,875	5,318	34,072
アジア・オセアニア	—	8,548	378	43	8,971
中南米	—	4,588	0	2	4,590
北米	—	2,647	572	—	3,220
中東・アフリカ	—	3,489	1	—	3,490
ヨーロッパ	—	1,691	45	3	1,740
顧客との契約から生じる収益	23,810	21,032	5,873	5,368	56,085
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,810	21,032	5,873	5,368	56,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	762	16	124	11	913
計	24,572	21,049	5,998	5,379	56,999
セグメント利益	1,112	783	443	366	2,705

	調整額	四半期連結財務 諸表計上額
売上高		
日本	—	34,072
アジア・オセアニア	—	8,971
中南米	—	4,590
北米	—	3,220
中東・アフリカ	—	3,490
ヨーロッパ	—	1,740
顧客との契約から生じる収益	—	56,085
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	—	56,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△913	—
計	△913	56,085
セグメント利益	328	3,034

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額328百万円の内訳は、報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益118百万円、各営業本部が負担する一般管理費の配賦差異44百万円及び営業外費用の配賦差異166百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「国内営業本部」に含まれていた「(株)デルオート」について、事業環境の変化に伴い管掌部門を移管したことにより「工機営業本部」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	349百万円	499百万円
のれんの償却額	127百万円	189百万円